



BUSINESS
CULTURE

現在、海外で暮らすウチナンチュ(県系人)は約42万人いると推計されています。ブラジルの約16万人をはじめ、ペルー、アルゼンチン、ボリビアなど南米全体では約25万人のウチナンチュが活躍しています。またアメリカなど北米に約10万人が暮らしているほか、欧州や中国、オーストラリアなど世界の五大陸すべてにウチナンチュが住んでいます。それぞれの国に拠点を持つウチナンチュと沖縄県に暮らすウチナンチュが強いつながりを持つことで、さまざまな国との文化交流が生まれています。また、そのネットワークを生かした国際的なビジネスが盛んになることも期待されています。

● 世界のウチナンチュ分布図



10月30日は世界中のウチナンチュネットワークに思いを馳せよう

Q4 「世界のウチナンチュの日」に参加できるイベントはありますか?



昨年は国立天文台ハワイ観測所に勤務する県出身の天文学者を招いてトークイベントを開催



移民の歴史を伝える演劇の公演も開催された



世界のウチナンチュネットワーク
<https://wun.jp/>

県や各市町村では、10月30日の「世界のウチナンチュの日」に関連した、さまざまなイベントを企画しています。10月には、世界を舞台に活躍しているウチナンチュを招いてのトークイベントをはじめ、小中学校などでの移民に関する出前講座や、まちめぐりツアーなどが企画されています。また12月にはウチナンチュネットワークについての演劇の公演なども予定されています。イベントの詳細は「世界のウチナンチュネットワーク」のホームページでご確認ください。

トークイベントや演劇の公演に参加して、交流を深めよう

Q3

ウチナンチュは、世界のどこにどれくらいいるの?

ブラジルが最多で約16万人。世界中に約42万人ものウチナンチュがいるよ

Q1 「世界のウチナンチュの日」って何?

世界各国のウチナンチュと沖縄県民のネットワークを作ることを目的に1990年に「世界のウチナンチュ大会」が開催されました。これは母県・沖縄にウチナンチュが一堂に集う大イベントで、その後、5年に一度開催されるようになりました。そして2016年の「第6回世界のウチナンチュ大会」の閉会式が行われた10月30日に、毎年この日を「世界のウチナンチュの日」に制定することが宣言されました。

ウチナンチュとは、沖縄に住んでいる人、沖縄と血のつながりのある人、それ以外にも、沖縄が好きで沖縄とつながりたい人々との多層的なつながりのことです。



1 10.30 世界のウチナンチュの日 WORLD UCHINANCHU DAY
 2 世界中のウチナンチュの繁栄を願うロゴマーク
 3 制定宣言を行った翁長知事、比嘉アンドレス氏(左)、伊佐正アンドレス氏(右)
 4 「世界のウチナンチュの日」を記念した祭典も開催された

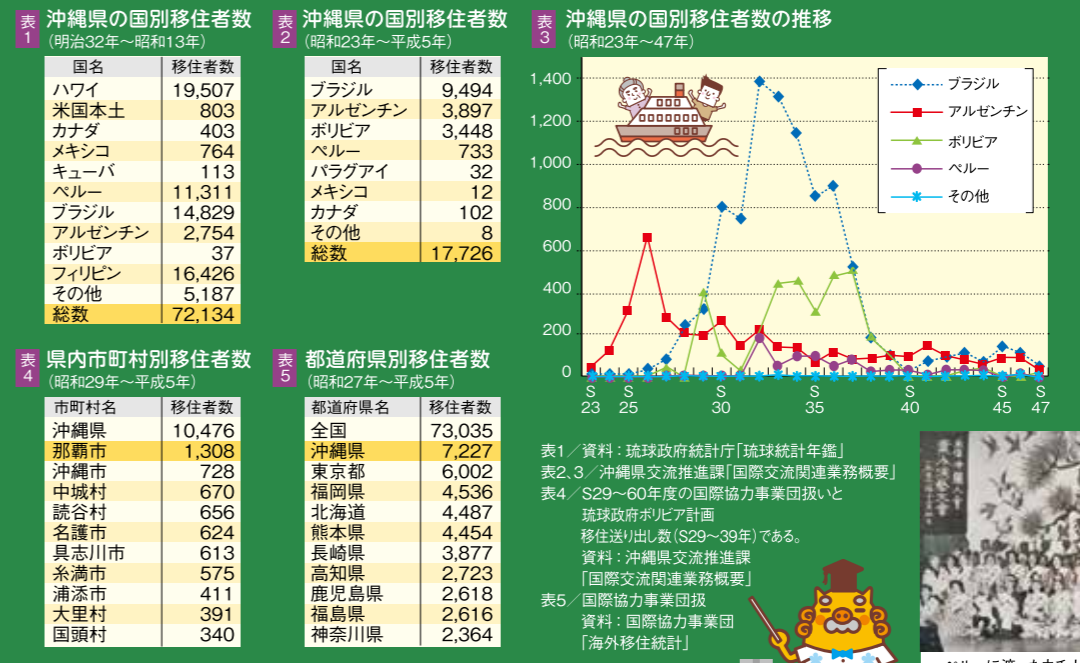
Q2

移民の歴史はいつから始まったの?

118年前にハワイに渡った26人から本格的な移民の歴史が始まったんだよ

沖縄から海外への移民は、移民の送り出しに情熱を注いだ山久三の尽力により、1899年に沖縄を出発しハワイに上陸した26人から始まりました。当時の沖縄はとても貧しく、海外で稼いで沖縄の家族を支えるために多くの人が続々と海外へ移住しました。戦後は琉球政府による移住政策の推進や先に移住していた家族からの呼び寄せにより、さらに移民が増えました。戦後初めての移民は1948年にアルゼンチンに渡った33人。戦前はハワイやフィリピンなどへの移民が多かったですが、戦後はブラジルやボリビアへの移民が増えています。

海外で一生懸命働いて仕送したり、沖縄の家族を呼び寄せたんだね



ペルーに渡ったウチナンチュたちは「沖縄人会」を作り、演芸大会などを催しました(1952年)



世界中に築かれたウチナンチュネットワークを継承し、さらなる繁栄を願って制定された記念日です。

10月30日は「世界のウチナンチュの日」

